

令和4年度事業計画について

1. 観光を取り巻く状況

(1) 旅行形態などの変化

- ①団体旅行から個人型旅行への流れが継続
- ②マイクロツーリズムが継続
- ③インバウンド観光（訪日旅行）が長期間停止
- ④日本人のアウトバウンド観光（海外旅行）が長期間停止
- ⑤航空運賃、JR 運賃、宿泊料金、パッケージ旅行価格の変動制（ダイナミック化）が進行
- ⑥旅行会社のリアル店舗販売から WEB・DP 販売が加速
- ⑦オンラインの商談や会議形式が慣習化し、ビジネス客や MICE 団体が減少

(2) 国内観光のトピックス

- ①新たな GoTo トラベルキャンペーンが R4 年 5 月 GW 後に開始予定？
- ②大阪万博（R 7 年 4 月～10 月）

(3) 県内観光のトピックス

- ①美肌観光の推進
- ②教育旅行団体の来県が増加
- ③石見銀山世界遺産登録 15 周年（R 4 年 7 月）
- ④柿本人麿没後 1300 年（R 5 年）
- ⑤山陰道の出雲 IC～仁摩・石見銀山 IC 間が開通予定（R 6 年度）

(4) 新型コロナウイルス感染状況等

- ①3 回目のワクチン接種が進行中
- ②まん延防止等重点措置が全国的に解除（R 4 年 3 月 21 日）
- ③第 7 波への警戒が必要
- ④ガソリンや食品原材料費等の物価が上昇

2. 事業体系

《一般会計》

令和2年度に再編した4つの事業体系の内、「新市場開拓推進事業」を「テーマ型マーケット開拓事業」に変更し、需要拡大を図るテーマを明確にして取り組む。

(1) 旅行業連携誘客推進事業

旅行業者や OTA（オンライントラベルエージェント）と連携し、B to B の手法で誘客を推進する。併せて B to C の観点を取り入れた取り組みを行う。

(2) 観光情報発信事業

観光消費を行う顧客に向けて直接島根の魅力を発信するとともに、メディア等を通じ

て島根の認知度向上を図り誘客を推進する。

(3) テーマ型マーケット開拓事業

教育旅行の誘致を継続するとともに今後の需要増を見込むワーケーション、学生旅行、ファミリー旅行等の開拓に取り組む。

(4) 受地開発支援事業

会員や県内の観光関係者が行う受地づくりを伴走支援するとともに、観光人材の育成支援を行う。併せて県内の各観光協会、DMOとの連携を強化する。

《特別会計》

令和3年度に開始した「&ご縁の聖地」ブランドを県内外に広め、出雲路（松江市、出雲市、安来市）への誘客を促進する。

(1) 「&ご縁の聖地」ブランド発信事業

様々なメディアや観光PRイベント、PRツールを通じて「&ご縁の聖地」ブランドと消費者との接点を多様に設け、圏域の魅力を伝えて誘客につなげる。

(2) 「&ご縁の聖地」受地整備事業

旅行者が「&ご縁の聖地」のコンセプト・世界観を感じ取れる空間づくりや着地メニュー企画を行う。

(3) 旅行会社商品造成販売促進事業

「&ご縁の聖地」ブランドを活かした旅行商品の造成と販売促進を旅行会社へ働きかける。

3. 取組の視点

- (1) 島根県や広域観光推進組織等との役割分担と連携のもと、専任職員を配置している強み（「専門性」・「継続性」・「機動性」）を最大限に活かして活動する。
- (2) 施策の推進にあたっては、ターゲット及び数値目標を定め、結果の検証を行うPDCAを進めていく。
- (3) 新型コロナウイルス感染症の影響と観光マーケットの状況について情報収集を行い、適宜、事業内容や実施時期の見直しを検討する。また、感染状況を注視し、島根県と連携しながら機動的に対応していく。
- (4) B to Bの事業を行う際にも、B to Cの観点を取り入れた取り組みを強化する。

令和4年度 事業体系

一般会計

単位:千円

令和4年度 予算総額 243,082 〈253,054〉	旅行業連携 誘客推進 93,885 〈110,990〉	旅行会社商品造成販売支援	18,500	〈48,900〉	(101,900)
		貸切バス旅行商品造成販売支援	13,000	〈0〉	0
		萩・石見空港を活用した誘客促進	54,585	〈54,090〉	(54,090)
		旅行会社向け観光情報発信事業	7,800	〈8,000〉	(8,000)
	観光情報発信 25,981 〈37,066〉	WEBマーケティング	14,271	〈19,716〉	(19,716)
		ロケ＆メディア取材誘致促進	8,878	〈12,808〉	(12,808)
		キャラクターマーケティング	1,632	〈2,142〉	(2,142)
		しまね観光大使活用	700	〈1,400〉	(1,400)
		観光PRイベント活用	500	〈1,000〉	(1,000)
	テーマ型マーケット 開拓 31,950 〈17,300〉	教育旅行等誘致	17,200	〈15,450〉	(20,450)
		マイクロツーリズム推進事業	6,000	〈0〉	(0)
		ワーケーション等推進事業	2,750	〈0〉	(0)
		学生旅行誘致事業	3,500	〈0〉	(0)
		ファミリー旅行誘致事業	2,500	〈0〉	(0)
		受地開発支援 2,500 〈3,000〉	誘客ネットワーク支援	1,000	〈800〉
地域観光開発支援	700		〈1,200〉	(1,200)	
研修	800		〈900〉	(900)	
廃止	MICE誘致	0	〈1,050〉	(1,050)	
	女性旅マーケット開拓整備	0	〈800〉	(800)	
	情報提供	0	〈100〉	(100)	
法人管理 88,766 〈84,698〉	法人の管理運営	88,766	〈84,698〉	(84,698)	

※〈 〉内は
前年度予算
【当初】
※〈 〉内は
前年度予算
【補正後】

特別会計

単位:千円

令和4年度 予算総額 24,556 〈22,609〉	「&ご縁の聖地」 ブランド発信 11,100 〈8,000〉	メディア等活用宣伝	4,500	〈2,500〉	
		PRイベント開催・出展	1,000	〈2,000〉	
		特設サイト運営・PRツール制作	5,600	〈3,500〉	
	「&ご縁の聖地」 受地整備事業 6,700 〈7,800〉	着地メニュー企画運営	3,000	〈4,000〉	
		「&ご縁の聖地」体感ポイント創出	3,700	〈0〉	
※〈 〉内は 前年度予算 【当初】	〈廃止〉新しいコンテンツ開発		0	〈3,800〉	
	旅行会社商品 造成販売促進 2,100 〈1,914〉	旅行会社商品造成販売支援	2,000	〈1,700〉	
		営業活動	100	〈214〉	
	法人管理 4,656 〈4,895〉	法人の管理運営	4,656	〈4,895〉	

I 一般会計

※ 〈 〉 内は令和3年度の当初予算額

※ () 内は令和3年度の第3次補正後の予算額

1 旅行業連携誘客推進事業

旅行業を行っている旅行会社や OTA（オンライントラベルエージェント）等へ観光素材の情報提供を行うとともに、旅行商品の造成・販売促進の支援により県外からの誘客を促進する。また、航空会社等の交通機関と連携した誘客促進事業を行う。

（１）旅行会社商品造成販売支援事業 18,500千円

県補助 10/10

〈48,900千円〉

(101,900千円)

FDA 路線を活用した「美肌県しまね」の誘客プロモーションを継続して行う。また、旅行会社の WEB ページやパンフレット制作等への助成、及び商品企画・造成担当者の現地視察等への支援を行って、旅行商品造成と販売の促進を図る。

-
- ・ FDA 就航地（仙台、静岡、名古屋）での美肌県しまね誘客プロモーションを実施
 - ・ 個人型旅行商品（パンフレット・WEB）の造成経費または販促経費の一部を助成
 - ・ 旅行会社担当者の現地視察経費の一部を助成

（２）貸切バス旅行商品造成販売支援事業 13,000千円

県補助 10/10

〈0千円〉

(0千円)

旅行会社が島根県内の周遊観光を目的とした貸切バス旅行を主催する経費の一部を助成することにより、旅行商品造成と販売の促進を図る。

-
- ・ 貸切バス旅行経費の一部を助成
 - ・ 貸切バス旅行の商品企画を公募し、助成先を決定

（３）萩・石見空港を活用した誘客促進事業 54,585千円

県補助 10/10

〈54,090千円〉

（54,090千円）

萩・石見空港の東京路線2便化継続のため、首都圏からの個人型観光客による利用促進と誘客を図る。

-
- ・萩・石見空港利用拡大促進協議会と連携し、個人旅行者のマーケティング事業を実施
 - ・OTAや旅行会社等と連携し、萩・石見空港を活用した個人型観光客の誘客を促進
 - ・「石見の神楽めし」、山口県と連携した「萩・石見ぶらり手形」の活用
 - ・萩・石見空港で借りるレンタカーの料金割引によって個人客を誘致

（４）旅行会社向け観光情報発信事業 7,800千円

県補助 7,000千円

〈8,000千円〉

（8,000千円）

県外の旅行会社を対象として、旅行商品素材や観光情報についての説明会・意見交換会・商談会を開催する。また、旅行会社への営業・情報発信ツールとなる観光素材集や旅行商品で活用する誘客ツールを作成する。

-
- ・オンラインでの民間事業者と旅行会社との商談会を中心とした説明会を実施
 - ・旅行会社の商品造成担当者等を対象とした観光情報説明会、意見交換会を実施（東京、大阪等）
 - ・旅行会社向けの観光素材集やWEBページを作成し、メール等で配信
 - ・旅行商品を通じてお客様に提供する誘客ツールを作成
 - ・県外の旅行会社へ営業活動を実施

2 観光情報発信事業

観光消費を行う顧客に向けて、公式サイト「しまね観光ナビ」により「美肌県しまね」への旅行に対する興味喚起を図るとともに、旅の過ごし方を提案する。また、テレビや雑誌、新聞、WEBサイトなどメディアへの観光情報掲載を促進するとともに、映画、テレビドラマ等のロケ誘致とロケ支援を行う。加えて、島根県観光キャラクター「しまねっこ」や「しまね観光大使」を活用して、島根県の認知度アップと誘客を図る。

(1) WEB マーケティング事業

14,271千円

県補助 10/10

〈19,716千円〉

(19,716千円)

島根の観光ポータルサイト「しまね観光ナビ」を活用して、最新の観光情報や顧客ニーズに沿った情報を届けるとともに、アクセス解析を行ってコンテンツづくりのPDCAを進める。

-
- ・「美肌県しまねうるおい研究室」のコンテンツを拡充し、美肌素材の発信を強化
 - ・旅ナカの過ごし方を提案する「体験・現地ツアー」を拡充
 - ・最新の観光情報を盛り込んだ特集記事を制作
 - ・観光キャンペーン、イベント情報などをタイムリーに発信
 - ・スポット記事の写真を充実
 - ・検索エンジンによる露出の最適化
 - ・記事広告の掲載
 - ・個別記事についてアクセス状況の把握・分析と関係者へのフィードバック

(2) ロケ&メディア取材誘致促進事業

8,878千円

県補助 10/10

〈12,808千円〉

(12,808千円)

島根フィルムコミッションネットワーク会議の事務局として、映画・テレビドラマなどのロケ（撮影）誘致活動を行うとともに、ロケに際し県内のFC（フィルムコミッション）や市町村等と連携しながら効率的かつ円滑なロケ支援を実施する。

また、県外メディアが島根県内で取材を行う場合に旅費等の助成を行い、島根の魅力ある観光情報の発信を促進する。

-
- ・島根フィルムコミッションネットワーク会議事務局としてロケ誘致、ロケ支援活動

- ・島根フィルムコミッションのWEBサイトを充実
- ・観光情報掲載促進のためのメディアへの取材費助成（首都圏、FDA 就航地等）

（３）キャラクターマーケティング事業 1,632千円

県補助 132 千円

〈2,142千円〉

（2,142千円）

島根県観光 PR キャラクター「しまねっこ」のキャラクター管理（イメージ管理）を適切に行いながら、デザインの利用促進や PR イベントでの活動を通じて「しまねっこ」及び「島根県」の認知度を高める。

- ・親しみ、好感度を維持するキャラクターイメージの管理
- ・公式ホームページ「しまねっこの部屋。」の運営
- ・「しまねっこ」デザインの利用促進と利用許諾
- ・観光 PR イベントへ「しまねっこ」とともに参加

（４）しまね観光大使活用事業 700千円

〈1,400千円〉

（1,400千円）

「しまね観光大使」を観光イベントやマスコミ訪問等に派遣し、島根のイメージ向上と PR を図る。

- ・観光大使の派遣
- ・観光大使のスキルアップ研修

（５）観光 PR イベント活用事業 500千円

〈1,000千円〉

（1,000千円）

県外での観光 PR イベントに参加して、島根の観光を PR する。

- ・島根ふるさとフェア（広島）
- ・FDA 就航地でのイベント（仙台等）

3 テーマ型マーケット開拓事業

教育旅行の目的地としての定着を図るとともに、今後の需要増を見込むワーケーション、学生旅行、ファミリー旅行等の開拓に取り組む。

(1) 教育旅行等誘致事業

17,200千円

県補助 10/10

〈15,450千円〉

(20,450千円)

新型コロナウイルスの影響で海外や都会地への修学旅行を見直す動きが続く中、島根県修学旅行助成制度などを活用し、教育旅行の目的地としての定着を図る。

- ・ 島根県修学旅行助成制度の周知、適用
- ・ 学校関係者や旅行会社を対象とした教育旅行素材説明会を開催（東京、名古屋）
- ・ 学校関係者や旅行会社担当者による視察、下見等を支援
- ・ 島根県教育旅行素材集を改訂
- ・ 教育旅行特設ウェブサイトの情報を拡充

島根県修学旅行助成制度の適用団体 誘致目標		
	学校数	宿泊人数
令和2年度（実績）	35校	3,398人泊
令和3年度（実績見込み）	121校	11,201人泊
令和4年度	60校	5,500人泊
令和5年度	60校	5,500人泊

(2) マイクロツーリズム推進事業

6,000千円

県補助 10/10

〈0千円〉

(0千円)

コロナ禍で注目されたマイクロツーリズムを推進し、近隣県から石見地域等へのリピーター創出を図る。

- ・ 近隣県からのマイカー利用者を対象にガソリンキャンペーンを実施
- ・ 近隣県から島根旅行のリピーターを創出

(3) ワークーション等推進事業**2,750千円**

県補助 10/10

〈0千円〉

(0千円)

働き方改革の一環として普及しつつあるワークーションやブレジャーによる来県拡大を図る。また、これまで行ってきた MICE（報奨旅行、招待旅行、研修旅行、視察旅行等）の誘致事業を継続する。

- ・ ワークーション等総合サイトを創設
- ・ ワークーション等のモニタリングを実施
- ・ 島根県等と連携したワークーション等の誘致活動を実施
- ・ MICE 団体「おもてなし」キャンペーンを継続・実施

(4) 学生旅行誘致事業**3,500千円**

〈0千円〉

(0千円)

冬季閑散期の来県が期待できる卒業旅行を中心とした学生旅行の誘致を推進する。

- ・ 令和3年度に行った学生旅行マーケットの調査結果をもとに誘致事業を実施
- ・ 学生旅行を取り扱う旅行会社との連携

(5) ファミリー旅行誘致事業**2,500千円**

〈0千円〉

(0千円)

平日の観光需要増が期待できる小学生未満の子供連れの家族旅行をターゲットとして誘客を図る。

- ・ 令和3年度に県内宿泊事業者等に対して行ったファミリー層の誘客取り組みのアンケート調査を参考に、家族連れにお勧めする旅行モデルプランを作成
- ・ 未就学児童の母親に向け、WEB 媒体等で情報を発信

4 受地開発支援事業

会員や県内の観光関係者とともに地域資源を活かした魅力的な受地づくりを行い、誘客につなげる。

(1) 誘客ネットワーク支援事業

1,000千円

〈800千円〉

(800千円)

組織的かつ継続的に県外への誘客活動を行う民間事業者組織等の営業・情報発信力を最大限に活かすため、支援と連携を行う。

- ・石見ツーリズムネットが行う誘客活動の支援
- ・その他の観光事業者組織と連携した誘客促進

(2) 地域観光開発支援事業

700千円

〈1,200千円〉

(1,200千円)

旅行消費者のニーズや観光マーケットの動向等について県内の関係者へ情報提供を行い、ポテンシャルのある観光資源の商品化と販売、及び誘客につなげる。また、地域観光の担い手と伴走しながら情報発信と誘客の支援を行う。

- ・旅行消費者のニーズや観光マーケット等についての情報を提供
- ・「美肌県しまね」をPRするロゴマーク「ご縁も、美肌も、しまねから。」を提供
- ・島根県観光連盟メールマガジン「島観連つうしん」により観光業界のニュースを情報提供
- ・「しまね観光ナビ」の記事広告作成支援とアクセス分析のフィードバック

(3) 研修事業

800千円

〈900千円〉

(900千円)

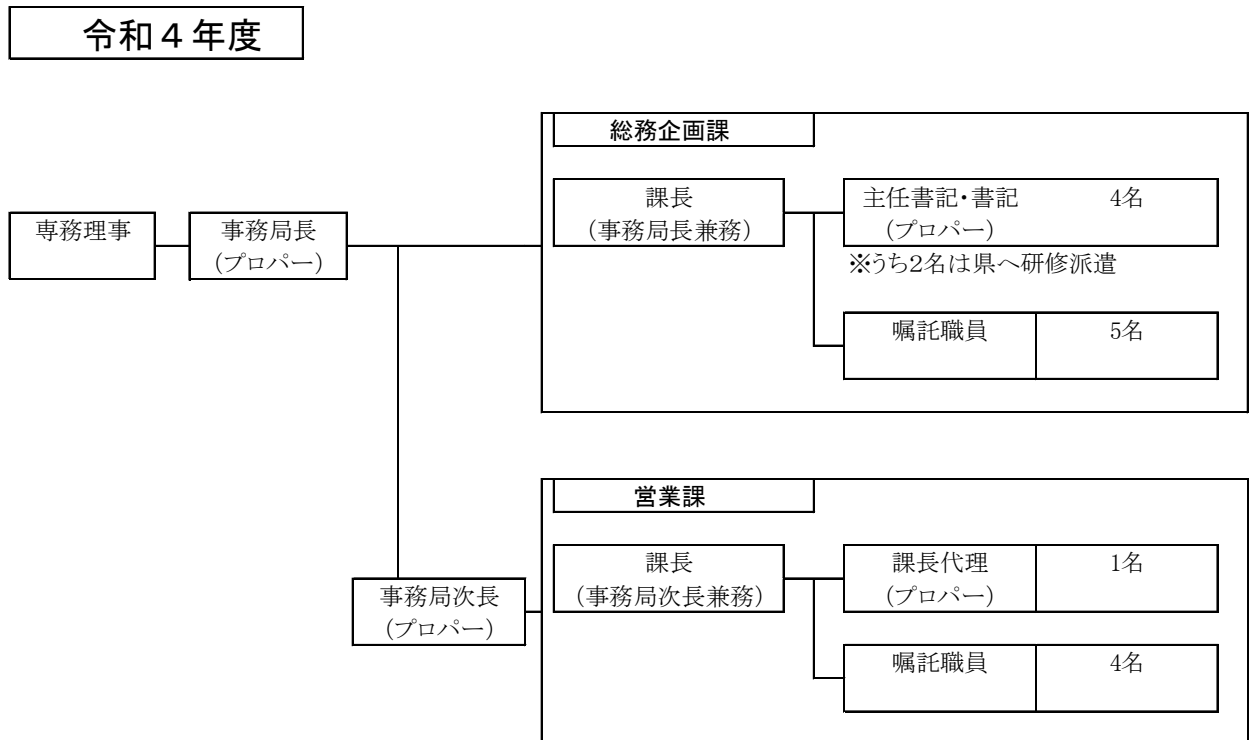
観光関連産業や観光協会に従事する職員等を対象とした研修を実施する。

- ・観光産業の専門家を講師に招いて研修を実施
- ・観光協会や連盟事務局職員のスキル向上研修
- ・連盟事業のWEB化に向けて研究

5 その他

(1) 事務局体制

近い将来にインバウンド事業を観光連盟で実施することを視野に入れ、正規職員2名を島根県観光振興課国際観光推進室へ出向（研修派遣）させる。



(2) 自主財源の確保

自主財源の増加を図るため、以下の取り組みを実施する。

- ・ 観光振興に資するための寄付型自動販売機設置を推進
- ・ 観光 PR イベントへの出展時等で、しまねっこグッズを付随的に販売
- ・ 新規会員の勧誘
- ・ 「しまね観光ナビ」への記事広告掲載を募集

Ⅱ 特別会計

特別会計の設置について

名 称：「&ご縁の聖地」ブランド誘客促進事業 特別会計

趣 旨：平成17年度に発足した神話の国 縁結び観光協会が解散後、令和3年度から当連盟に特別会計を設置して同観光協会の事業を引継いで実施。

目 的：神話の国 縁結び観光協会による広域観光の取り組みによって島根県における有力な観光ブランドとなった「縁結び」ブランドを、「&ご縁の聖地」としてリブランディングし、島根県が推進する「ご縁」と「美肌」観光の取り組みと連携しつつ、出雲路圏域への誘客を促進する。

期 間：特別会計の設置期間は、令和3年度から令和5年度までとする。

収 入：市負担金（松江市・出雲市・安来市） 令和2年度の7割相当
県負担金 令和2年度の7割相当

事業計画：令和4年度事業計画 別添

幹事会：特別会計の事業費を負担する団体（松江市、出雲市、安来市及び島根県）が進める事業との連携・調整を図るため、特別会計幹事会を設置する。

〈構成〉

団体名	幹事
松江市 観光振興課	課長
出雲市 観光課	課長
安来市 観光振興課	課長
島根県 観光振興課	課長
島根県観光連盟	専務理事

〈幹事会の議事〉

- | | |
|--------------------------|-------|
| ①特別会計の事業計画・収支予算（案）について | ・・・3月 |
| ②特別会計の事業報告・決算（案）について | ・・・5月 |
| ③その他、特別会計事業の実施にあたって必要な事項 | ・・・適宜 |

令和4年度「&ご縁の聖地」ブランド誘客促進事業

※〈 〉内は令和3年度の当初予算額

1 「&ご縁の聖地」ブランド発信事業

様々なメディアや特設サイト、PR ツール、PR イベント等により「&ご縁の聖地」ブランドと消費者との接点を多様に設け、圏域の魅力を伝えて誘客につなげる。

(1) メディア等活用宣伝事業 4,500千円

〈2,500千円〉

SNS を活用するとともに、テレビ、雑誌、WEB メディア、フリーペーパー等の媒体企画・運営者に働きかけて、「&ご縁の聖地」の魅力発信を行う。

- ・ インスタグラマーを活用した情報発信
- ・ マスメディアやWEB メディアへ広告出稿
- ・ 山陰遊悠絵図へ広告出稿
- ・ 一般会計のロケ&メディア取材誘致促進事業と連携した取り組み

(2) PR イベント開催・出展事業 1,000千円

〈2,000千円〉

「&ご縁の聖地」の認知度を高め、魅力を発信するPR イベントを企画・実施する。

- ・ いいご縁の日（11月5日）を活用したPR イベントを企画
- ・ 鏡の池（レプリカ）や絵馬かけを使ったPR
- ・ ターゲット層に訴求するPR イベントに出展

(3) 特設サイト運営・PR ツール制作事業 5,600千円

〈3,500千円〉

「&ご縁の聖地」特設サイトの内容を拡充し、魅力発信を行う。また、ロゴを入れたポスターやノベルティ等の企画・制作と活用を行う。

- ・ 「&ご縁の聖地」特設サイトの内容拡充
- ・ ロゴ入りグッズ、ポスター等を制作
- ・ コンセプトブックを増刷
- ・ 商標登録業務

2 「&ご縁の聖地」受地整備事業

「&ご縁の聖地」ブランドのコンセプト・世界観を感じとれる空間づくりや着地メニュー企画を行い、情報発信や旅行商品への組み込みを図る。

（１）着地メニュー企画運営事業 3,000千円

〈4,000千円〉

「ご縁パスポート」「ご縁スイーツ」などの企画を継続し、旅行会社商品への組み込みを図る。また、出雲圏域内の観光案内所等の協力を得て、それらの旅行商品を購入して来県されるお客様へ各企画や特典を提供する。

-
- ・ご縁パスポート、ご縁スイーツ・出雲路そば巡りの改訂
 - ・観光案内所窓口と連携

（２）「&ご縁の聖地」体感ポイント創出事業 3,700千円

〈0千円〉

旅行者が「&ご縁の聖地」のコンセプトを感じ取れるタッチポイントや空間づくりを地元関係者とともにすすめる。

-
- ・商店街や旅館ホテル等における体感ポイントや空間づくり
 - ・「&ご縁の聖地」ロゴの利用促進
 - ・「どこでもバスマップ」にロゴ掲載

3 旅行会社商品造成販売促進事業

「&ご縁の聖地」をテーマとした着地メニューを活用した出雲圏域に宿泊する旅行商品の造成を発地の旅行会社へ働きかけるとともに、旅行商品における「&ご縁の聖地」の露出を高める。また、旅行会社と連携した販売プロモーションを行う。

（１）旅行会社商品造成販売支援事業 2,000千円

〈1,700千円〉

大手旅行会社の旅行商品における「&ご縁の聖地」の露出強化を図る。また、一般会計事業と連携し、旅行会社に対して各着地企画の活用・紹介を働きかける。

-
- ・ファーストブランド及びセカンドブランド旅行商品、WEB旅行商品へ着地企画を提供
 - ・旅行会社商品を通じて提供されたクーポン券利用の精算、支払

(2) 営業活動事業 100千円
 <214千円>

大手旅行会社等へ訪問営業を行うとともに、県や連盟で主催する旅行会社向け観光情報説明会において営業を行う。

-
- ・ 旅行会社への訪問営業
 - ・ 各種観光情報説明会に参加